

<社会>

○香港・華南

台風13号で香港・華南に被害

8月23日、台風13号「ハト」が香港に上陸し、香港天文台は5年ぶりに、台風警報の最高レベル「シグナル10」を発令しました。香港の各地で樹木の倒壊、浸水の被害、窓ガラスの破損が相次ぎ、120人以上が負傷したほか、その後上陸したマカオや広東省珠海市では16人が死亡する被害が出ました。

また当日は、香港国際空港で約480便が欠航したほか、香港証券取引所が終日閉鎖し、市場が混乱しました。台風13号による被害は80億香港ドル（約1,120億円）にのぼると見られています。

香港の台風警報はシグナル1から10まであり、シグナル8が発令されると、学校は休校、公共交通機関もストップするほか、金融機関を含めほとんどの会社が休みになります。今回の大型台風では、早朝の台風警報発令でほとんどの市民が自宅待機したことが、香港では死者を出すほどの被害に至らなかったことに繋がったと思われます。



○香港

「香港フード・エキスポ」が開催

8月17日～21日、香港コンベンション&エキシビジョンセンターにて、アジア最大級の食品見本市「香港フード・エキスポ」が開催されました。世界26カ国から約1,500の企業・団体が出展し、バイヤーと一般来場者を含む約50万人が来場しました。

日本からは、日本貿易振興機構（ジェトロ）が開設した「ジャパンパビリオン」に出展した201企業・団体を含む、327企業・団体が参加し、香港での販路拡大のための商品のアピールやバイヤーとの商談を行いました。

香港は、日本の農水産物の最大の輸出国であり、昨年の輸出額は、全体の4分の1にあたる1,853億円に達しました。一方で、香港から見ると、日本からの輸入は全体の5.3%にとどまっていることから、日本側では「まだまだ輸出が伸びる余地がある」と意欲を見せています。

出展者からは、バイヤーとのB to B 商談に期待する声や、新商品が香港人の味覚に合うかどうか見極めたいとの声が聞かれました。また、「Made in Japan」のブランド力ではいずれ限界が来るとの危機感から、自社のオーガニック食材の国際規格獲得を目指す出展者

もおり、今後は、ただ単純に「Made in Japan」をアピールするのではなく、和食や日本食材のさらなる魅力の発掘、発信が必要なのかもしれません。



○ベトナム

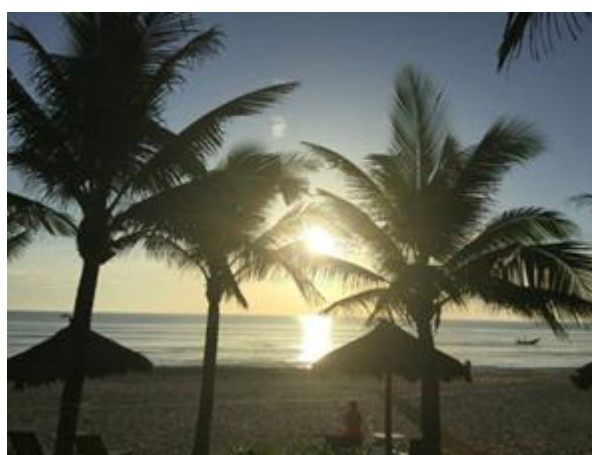
穴場リゾート「ダナン」

皆さんダナンをご存知でしょうか。ベトナム中部に位置する都市です。ベトナムといえば北部にある首都のハノイ、南部の都市ホーチミンが有名ですが、ダナンは近年人気急上昇中のホットスポットです。2015年から成田からの直行便が毎日就航しているほか、今月より関空からベトナムのLCC、ジェットスター・パシフィックのダナン直行便が週4便就航し、交通の便も格段に良くなっています。

各リゾートホテルは空港からタクシーで15～30分以内(500円～1,000円程度)にあり、非常に便利です。海外でタクシーに乗るのは危険との認識がありますが、ベトナムは比較的安全で、白色のビナサンタクシーか緑色のマイリントクシーであれば、犯罪行為に遭う可能性は低いと言われています(ただし、ドライバーによっては運転の荒いドライバーもいますので注意が必要です)。

ダナンの海岸は波が強いため、海水浴やシュノーケリングには不向きですが、食べ物よし、治安よし、アクセスよし、と十分に満足できるのではないのでしょうか。

近年急速な発展を遂げており、今年の11月にはASEAN首脳会議が開かれることになるなど、今後ますます注目度が高くなるであろうダナン。是非日ごろの疲れを癒しに足を伸ばしてみてください。



香港・広東省の見本市予定（2017年9月～2017年11月）

香港

見本市名	場所	期間
レストラン&バー展（飲食業展示会）	HKCEC	9/5～9/7
シーフードエキスポアジア	HKCEC	9/5～9/7
香港ジュエリーショー	HKCEC/AWE	9/13～9/19
Global Sources Consumer Electronics（電子機器関連）	AWE	10/11～10/14
Global Sources Mobile Electronics（スマホ、VR関連）	AWE	10/18～10/21
International Lighting Fair（照明製品、LED関連）	HKCEC	10/27～10/30
香港国際ワイン&スピリッツフェア	HKCEC	11/9～11/11
Cosmoprof 2017（コスメ、美容関連）	HKCEC	11/14～11/17
香港国際ジュエリーマニファクチャーショー	HKCEC	11/30～12/3

※ HKCEC：香港コンベンション&エキシビション・センター

※ AWE：アジアワールドエキスポ（香港国際空港側展示会場）

広東省

見本市名	場所	期間
第15回中国国際ホスピタリティ用品フェア	琶洲会場	9/8～9/10
第7回広州国際輸入食品展 第8回国際健康食品展 第8回国際オーガニック食品展	琶洲会場	9/15～9/17
17th Shoes-Leather-Bags Fair（シューズ、バッグ関連）	PWTC	10/31～11/2
第4回中国国際シルバー産業博覧会	PWTC	11/16～11/18
深セン国際タッチパネル技術展	SZCEC	11/24～11/26

※琶洲会場：中国出口商品交易会琶洲展示館（広州）

※SZCEC：深圳コンベンション&エキシビション・センター

※PWTC：ポリーワールドトレードセンター（広州）

上記の見本市は予定が変更になる場合もありますのでご留意下さい。

★トピックスレポート（香港人スタッフ便り）★

消費者救済に向けて～香港と韓国の取り組み～

今年5月25日、香港の消費者委員会は、韓国の消費者院と、消費者救済に関する協力覚書を交わしました。2004年に香港と北京・上海・マカオ間で締結して以来、海外の機関との締結は初めてであり、情報交換や消費者の苦情解決、そして双方の旅行者が安心して買物できる環境を整えることを目的としています。

2015年、韓国を訪れた香港人は前年比24%増の65万人、香港を訪れた韓国人は前年比12%増の140万人となりました。同時に両国間のオンラインショッピングも増加しています。

旅行中の買物は、時間的にタイトな旅程や言葉の壁などが原因で、その場で苦情を申し出ることが難しく、また帰宅後は苦情を申し出る手段がない、という場合がほとんどです。オンラインショッピングでも言葉、文化、法規制、商習慣の違いの壁にぶつかります。今回の協力覚書により、両国は、消費者が帰国後に自国の機関に救済を求められる仕組みを導入します。苦情を受け取った機関は、相手側機関に英語で報告し、解決に向けて支援を求めます。消費者委員会は消費者に対して、レシートやクレジットカード利用書、店舗の情報を保管し、問題のある商品の写真を撮るように注意喚起しています。

香港の消費者委員会は1974年に設立され、消費者の利益に資すること目的に、年間約3万件の苦情を取り扱っています。また1977年から、商品比較テストを掲載した「チョイス・マガジン」を発刊し、最近では25品目のランチョンミートを調査した結果、6品目から基準を超えるナトリウムが検出されたことを報告しています。

今後香港の人々は、韓国現地で購入した物や、オンラインショッピングで購入した物について、香港の消費者委員会に救済を求めることができます。香港が中国以外の国と協力覚書を締結したのは初めてですが、韓国は同様の覚書を日本、アメリカ、ベトナム、タイ、シンガポールと締結しています。香港は今後1、2年で日本とシンガポールとの覚書締結を目指しています。将来、このような協力覚書が香港と多国間で広がり、香港の消費者の権利を守ることに繋がることを祈っています。